

2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月13日

上場会社名 株式会社 山陽百貨店
 コード番号 8257 URL <http://www.sanyo-dp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 三浦 修一
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 079-223-1231

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	11,146	24.8	123		0	99.6	138	
2020年2月期第3四半期	14,826	1.4	180	1.7	231	2.6	161	6.3

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 126百万円 (%) 2020年2月期第3四半期 166百万円 (12.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	172.36	
2020年2月期第3四半期	200.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	12,202	2,238	18.3
2020年2月期	12,865	2,365	18.4

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 2,238百万円 2020年2月期 2,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期				0.00	0.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,092	20.8	38		111	71.1	16		20.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	810,000 株	2020年2月期	810,000 株
期末自己株式数	2021年2月期3Q	7,938 株	2020年2月期	7,705 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	802,172 株	2020年2月期3Q	802,308 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年11月30日)における国内経済は、全世界に拡大する新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に外出制限や営業・生産活動の停止措置が行われたことで経済活動が抑制されるなど、景気は極めて厳しい深刻な状況で推移いたしました。

百貨店業界におきましては、2019年10月の消費税増税による消費の急激な落ち込みに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、政府から発出された緊急事態宣言による外出・営業自粛要請を踏まえ、臨時休業や営業時間の短縮、集客催事イベント中止などにより、来店客数が大幅に減少いたしました。また、緊急事態宣言解除後においても、第3波への懸念が広がるなど、消費マインドの回復が見通せない状況が続き、さらに、大都市圏の店舗においては、業績を下支えしていたインバウンド購買が、海外からの渡航者の入国制限により、過去に類を見ない減少率を記録するなど、全国的に前年実績を大幅に下回る厳しい結果となりました。

このような状況の中、当社グループは、2020年度からの新中期経営計画の基本方針である「外販力増強による顧客獲得策の推進」、「店舗魅力向上のための商品・催事開拓」、「顧客満足度の向上策の実行と徹底強化」に基づき、従業員全員で各種施策に取り組み、地域のお客さまから支持される店づくりを推進してまいりました。

営業面では、婦人服売場に、大人可愛いフェミニンなデザインで人気のブランド「エムズグレイシー」や、スタイリッシュで着心地の良い服を提案するパリ発信のブランド「ミッシェルクラン」を、食料品売場に、店内の専用厨房で季節感あふれる出来立て惣菜を提供する老舗精肉店柿安本店の惣菜専門店「柿安ダイニング」や、安心・安全の旬の素材を使用したジャムやドレッシングなどの食品ギフト専門店「セゾンファクトリー」をそれぞれ新たに導入するなど、店舗の魅力向上に注力してまいりました。催し会場につきましては、初開催となった「大佛師 松本明慶 佛像彫刻展」をはじめとする話題性のある美術催事や「秋の北海道大物産展」、「日本列島絶品うまいもの大会」などの人気食品催事、そして例年好評を博している「世界の宝石グランドフェア」や「山陽の黄金展」といった宝飾催事の開催により、集客ならびに売上の確保に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受けて、当社は、2020年4月8日から5月15日の期間、地階食料品売場を除く全ての売場を臨時休業したほか、営業再開後も集客催事を中止するなど、営業活動に大きな影響を及ぼすこととなりました。

一方、当社では新しい生活様式に対応した安全な店内環境・販売体制を構築し、お客さまに安心してご来店いただける体制づくりに注力しました。

経費面におきましては、臨時休業等に伴う大幅な売上の減少を受けて、全ての経費項目の抜本的な見直しを行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、11,146百万円(前年同期比24.8%減)と大幅な減収を余儀なくされ、それに伴い、営業損失は123百万円(前年同期営業利益180百万円)、経常利益は0百万円(前年同期比99.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は138百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益161百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ662百万円減少し、12,202百万円となりました。これは主に、季節要因による受取手形及び売掛金の増加253百万円、現金及び預金の減少754百万円などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ535百万円減少し、9,964百万円となりました。これは主に、返済による借入金の減少627百万円などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ126百万円減少し、2,238百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少138百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、2020年10月12日付「2021年2月期 第2四半期決算短信」において公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,299,698	545,138
受取手形及び売掛金	716,250	970,164
有価証券	701,026	700,000
商品	1,068,453	1,117,834
貯蔵品	8,958	9,313
その他	186,227	156,033
貸倒引当金	△590	△780
流動資産合計	3,980,024	3,497,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,175,013	3,032,577
土地	4,742,826	4,742,826
その他(純額)	161,607	127,374
有形固定資産合計	8,079,446	7,902,778
無形固定資産	127,428	125,089
投資その他の資産		
投資有価証券	128,577	104,523
繰延税金資産	76,102	61,298
差入保証金	423,240	438,645
その他	65,723	87,639
貸倒引当金	△14,886	△14,751
投資その他の資産合計	678,756	677,355
固定資産合計	8,885,632	8,705,222
資産合計	12,865,656	12,202,928
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,819,428	1,917,302
短期借入金	1,620,000	1,455,000
未払法人税等	79,020	2,531
前受金	2,462,349	2,637,010
商品券	1,114,805	1,141,427
賞与引当金	18,524	15,302
役員賞与引当金	4,320	—
商品券回収損引当金	225,500	240,500
その他	540,818	430,622
流動負債合計	7,884,766	7,839,695
固定負債		
長期借入金	2,222,500	1,760,000
退職給付に係る負債	329,593	304,019
その他	63,661	60,907
固定負債合計	2,615,754	2,124,926
負債合計	10,500,521	9,964,621

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金	7,554	7,554
利益剰余金	2,015,863	1,877,598
自己株式	△16,447	△16,850
株主資本合計	2,411,971	2,273,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,539	12,121
退職給付に係る調整累計額	△56,376	△47,117
その他の包括利益累計額合計	△46,836	△34,996
純資産合計	2,365,134	2,238,306
負債純資産合計	12,865,656	12,202,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	14,826,566	11,146,366
売上原価	11,706,336	8,838,610
売上総利益	3,120,230	2,307,756
販売費及び一般管理費	2,940,060	2,430,903
営業利益又は営業損失(△)	180,169	△123,147
営業外収益		
受取利息	294	219
受取配当金	3,582	3,820
受取家賃	1,694	1,706
債務勘定整理益	84,635	89,760
雇用調整助成金	—	54,107
その他	39,229	46,372
営業外収益合計	129,435	195,986
営業外費用		
支払利息	9,556	6,960
商品券回収損引当金繰入額	66,801	64,876
その他	1,516	175
営業外費用合計	77,873	72,012
経常利益	231,731	825
特別利益		
雇用調整助成金	—	29,168
特別利益合計	—	29,168
特別損失		
固定資産除却損	5,976	3,147
投資有価証券評価損	—	33,494
臨時休業等損失	—	111,036
特別損失合計	5,976	147,677
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	225,754	△117,683
法人税等	64,607	20,581
四半期純利益又は四半期純損失(△)	161,147	△138,265
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	161,147	△138,265

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	161,147	△138,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△565	2,581
退職給付に係る調整額	6,391	9,258
その他の包括利益合計	5,825	11,839
四半期包括利益	166,973	△126,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,973	△126,425
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、政府の緊急事態宣言や県の休業要請を踏まえ、お客さま並びに従業員の安全確保、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食料品売場を除き店舗の臨時休業をいたしておりました。

緊急事態宣言が全国的に解除された後も、外出自粛等の影響は当面継続し、当該感染症の影響が翌連結会計年度も一定期間続くとの仮定のもと、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。